

MP3 ファイル再生ボード

シグナルボイス®

取扱説明書

[TYPE : FV-127JP]

株式会社 **パトライト**
PATLITE Corporation

目次

はじめに	3
1. 製品概要	4
2. 安全上のご注意	5
3. 各部名称と機能	6
4. 取付け方法	9
5. 配線方法	10
5-1. 端子配列と名称	10
5-2. 配線	11
6. 音量調整方法	20
6-1. ボリューム調整	20
6-2. 減音機能	21
7. 設定スイッチ	22
7-1. CH 端子入力	23
7-2. 再生モード	25
7-3. SD カード動作	31
7-4. 入力取込時間	36
7-5. スピーカー出力	36
8. 再生方法	37
9. エラー表示	38
10. バイナリ変換表	39
11. オプション販売品	41
12. 修理を依頼される前に	43
13. 仕様	45

はじめに

このたびは、パトライト **シグナルボイス**® をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

保守・点検や、補修などをするときには必ず本書を読み直してください。

● 本書の表記について

- ・ 再生時間に関する表記は、ビットレート 64kbit/s の MP3 ファイルを使用した場合です。ビットレートが異なる場合、再生時間は異なります。
- ・ SD カードは、別売りの SDV-2GP 口を使用してください。他の SD カードを使用した場合の動作は、保証されません。

(☞ 41 ページ「[① SD カード\(MP3 音声メッセージ入り\)](#)」参照)

- ・ SD カードをフォーマットする際は、FAT16 でおこなってください。FAT16 以外の形式でフォーマットすると、SD カードを認識できません。
- ・ Windows10 等でフォーマットした際、弊社製品にて認識しないフォーマットになる場合があります。その際は、FAT16 のフォーマットが可能な OS にてフォーマットを行うか、SD カードアソシエーションが提供しているフォーマットツールにてフォーマットを行ってください。

OSD メモリカードフォーマッター（実行には管理者権限が必要です）

<https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html>

● 著作権について

音楽 CD、または他のメディアから録音あるいはコピーされた著作物を公衆・公共の場所で使用された場合、著作権侵害による法的処罰を課せられることがあります。音楽 CD、または他のメディアから録音、あるいは コピーされた著作物を使用する場合には、必ず著作者の承諾を受けてください。

また、株式会社パトライトが配布、または販売する音声・音楽データの著作権は弊社に帰属します。株式会社パトライトの音声・音楽データの内容の一部、または全部を、権利者の許可無く複製・転載、またはネットワークなどで転送したり販売することを禁止します。

- Windows_(R)は、米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における登録商標です。

- 株式会社パトライトは SD Card Association のメンバーです。

1. 製品概要

本製品はFA用途でもご使用いただける、小型のMP3ファイル再生ボードです。音源データにMP3を採用しているため、高音質な音声メッセージを長時間再生することが可能です。また、登録されている音声メッセージは自由に書き換えることができます。（最大127メッセージまで登録可能）

●高音質・長時間再生

- ・ 本製品の音声メッセージ再生方法は、本体メモリに登録されたメッセージを再生する方法と、挿入されたSDカードに登録された音声メッセージを再生する方法の2通りがあります。
- ・ 本体メモリにMP3データを登録する場合、最大8分の音声メッセージを再生することができます。SDカード内の音声メッセージを再生する場合は、別売りのSDカードを使用することにより、長時間再生が可能です。
（例：音声メッセージの合計データ容量が128MBの場合、約240分再生可能）

●音声メッセージ書き換え・読み出し機能

- ・ SDカードを使用して、音声メッセージを自由に書き換えることができます。
- ・ 本製品へ登録されている音声メッセージを、SDカードへ読み出すことができます。

●耐ノイズ性

- ・ 入力取込時間の設定により、ノイズによる誤動作を抑えることができます。
- ・ ノイズ対策ピンの設定により、環境に応じたノイズ対策をおこなうことができます。



●用途に応じた再生

- ・ 5種類の再生モードから、使用方法にあわせた再生方法を選択できます。
- ・ 外部信号の制御により、3段階の再生音量の減音ができます。

2. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定されている」内容です。
 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されている」内容です。

安全のために必ずお守りいただきたいこと

警告

- 電源は必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因になります。
- 製品の分解・改造をしないでください。火災や故障の恐れがあります。
- 動作時は部品が熱くなりますので、製品に触れたり、周囲に可燃性のものを配置しないようにしてください。火傷や火災の原因になります。

注意

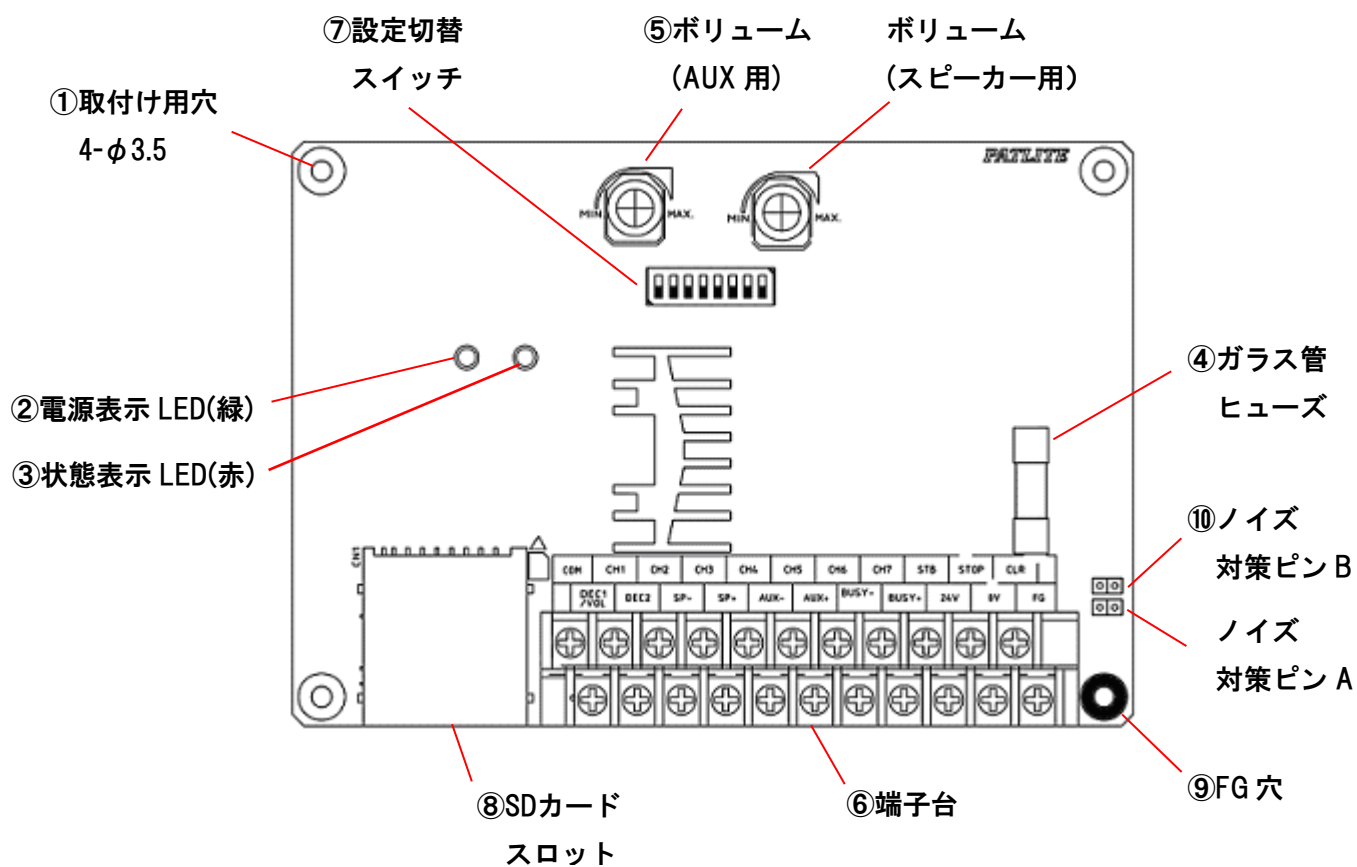
- 本製品に触れる場合は、体に帯電している静電気を必ず放電させてから作業をおこなってください。静電気を放電させるには、他のアースされている金属部分を素手で触れるようにしてください。また、指定外の部品や基板パターンを触らないようにしてください。静電気で基板上の部品が壊れたり、部品の足でケガをすることがあります。
- 本製品は組み込み専用の基板です。水・塵埃などの導電性の異物から基板を保護してください。ショートの原因があります。
- 工具等を基板に接触させないでください。ショート・部品破損の恐れがあります。
- 配線・取付けの際は、必ず電源を切ってからおこなってください。ショートによる内部回路の焼損の危険があります。
- 仕様を超える振動のある場所では使用しないでください。本製品が破損・落下する恐れがあります。

警告及び注意事項に反したお取り扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保障はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。

お願い

- 本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
- 電源の ON/OFF によるメッセージ再生はおこなわないでください。誤動作の原因になります。
- 腐食性ガスのあるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は本書記載の環境条件で使用してください。それ以外の環境では故障の恐れがあります。

3. 各部名称と機能



① 取付け用穴 4-φ3.5

取付けの際に使用します。(☞ 9 ページ「[4. 取付け方法](#)」参照)

② 電源表示 LED (緑)

通電時点灯します。

③ 状態表示 LED (赤)

各種動作に応じて点灯・点滅します。

LED 状態	動作
消灯	待機時、音声メッセージ再生時
点灯	音声メッセージ書き換え時 音声メッセージ読み出し時
点滅	エラー発生時 (☞ 38 ページ「 9. エラー表示 」参照)

④ ガラス管ヒューズ

過電流保護用ヒューズです。交換の際は下記仕様のものを使用してください。

ガラス管ヒューズ φ5.2×20 定格電流 1.0A 普通溶断型
 (推奨品： 日本製線株式会社 FBM 250V 1A / 富士端子工業株式会社 FGMB 250V 1A)

⚠ 注意

- ヒューズの交換は、電源を切ってからおこなってください。ショート恐れがあります。

⑤ ボリューム（スピーカー用）、（AUX 用）

スピーカー出力、AUX 出力の音量を調整することができます。

(⇒20 ページ「[6-1. ボリューム調整](#)」参照)

⑥ 端子台

各入力、出力を配線します。(⇒10 ページ「[5. 配線方法](#)」参照)

⑦ 設定切替スイッチ

再生モード、SD カードの動作等の設定をおこないます。

(⇒22 ページ「[7. 設定スイッチ](#)」参照)

⑧ SD カードスロット

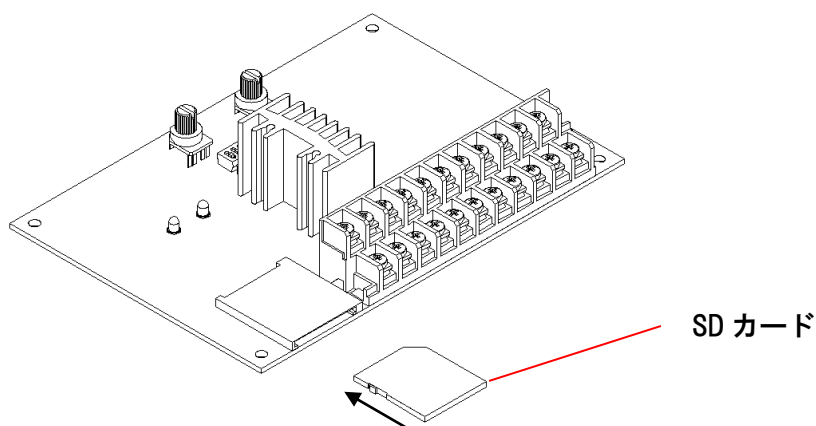
音声メッセージ書き換え、音声メッセージ読み出し、SD カード常設時に使用します。

(⇒31 ページ「[7-3. SD カード動作](#)」参照)

【SD カード挿抜方法】

挿入の際は、下図の向きでカチッと音が鳴るまで押し込んでください。

抜く際は、もう一度奥へカチッと鳴るまで押し込んでください。



⚠ 注意

- SD カードスロットに SD カードを差し込む際、方向に注意してください。また、SD カードを無理に押し込まないようにしてください。製品・SD カードが破損する恐れがあります。

⑨ FG 穴（フレームグランド穴）

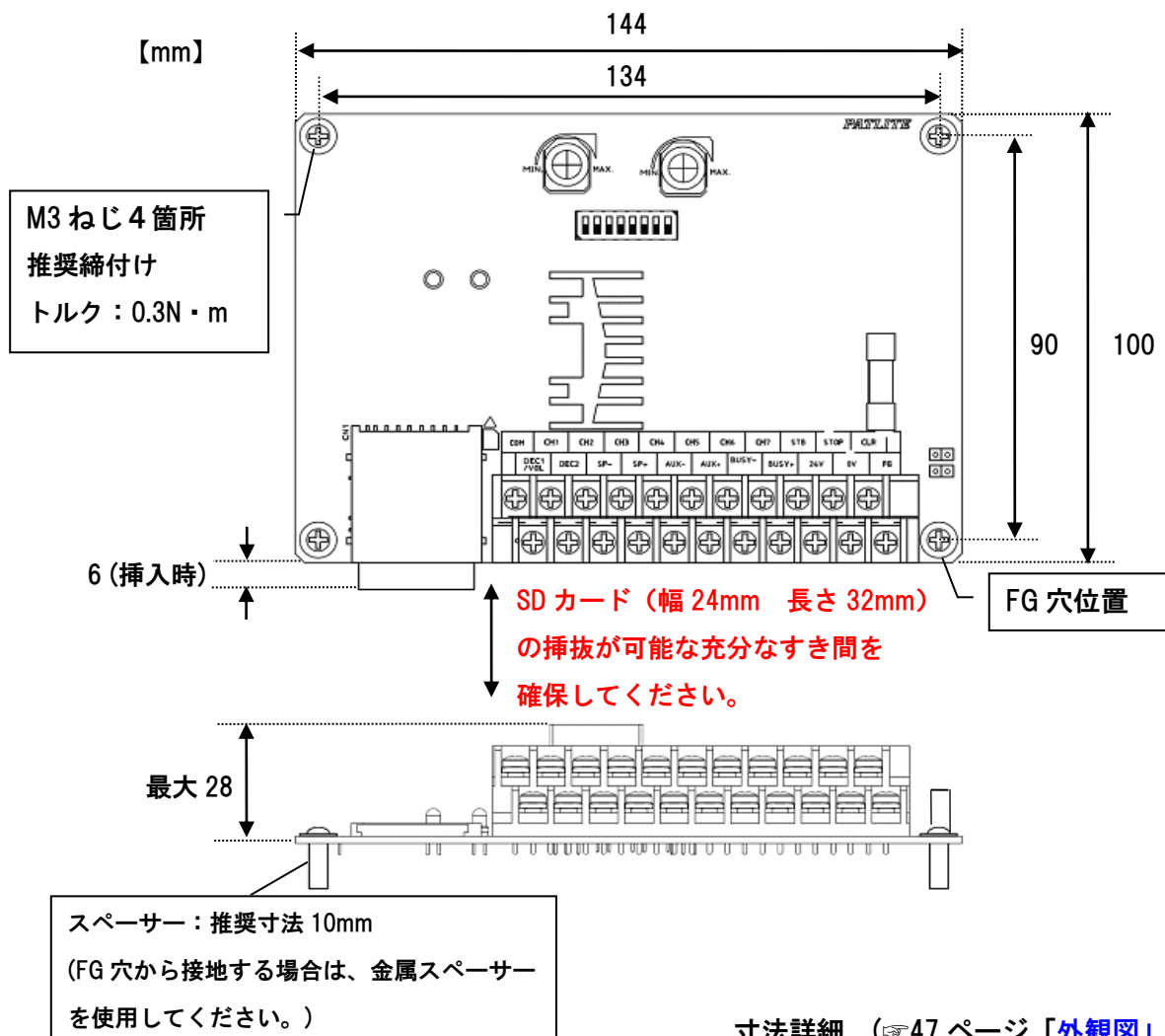
接地することにより、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。
端子台の FG と接続されています。

⑩ ノイズ対策ピン（A , B）

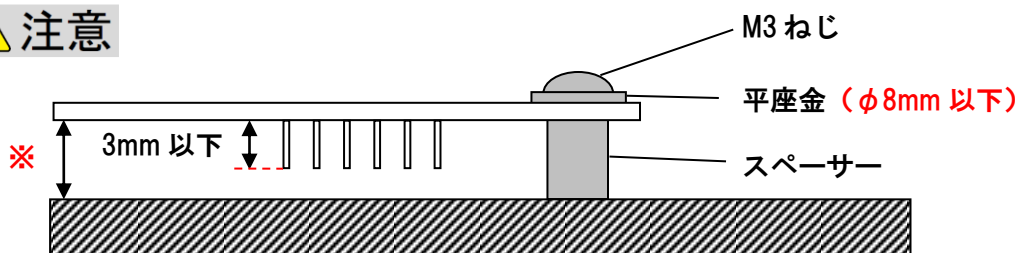
ピンの挿入状態によりノイズの影響を受けにくくなる場合があります。
出荷時は両方挿入されていますが、使用環境によってはピンを抜いた方が、
ノイズに強くなる場合があります。使用環境によって使い分けてください。
(☞13 ページ「[② FG 端子の配線、ノイズ対策ピンの設定](#)」参照)

4. 取付け方法

下図のように、M3 ねじとスペーサー（付属していません）を使い、4 点で取り付けてください。



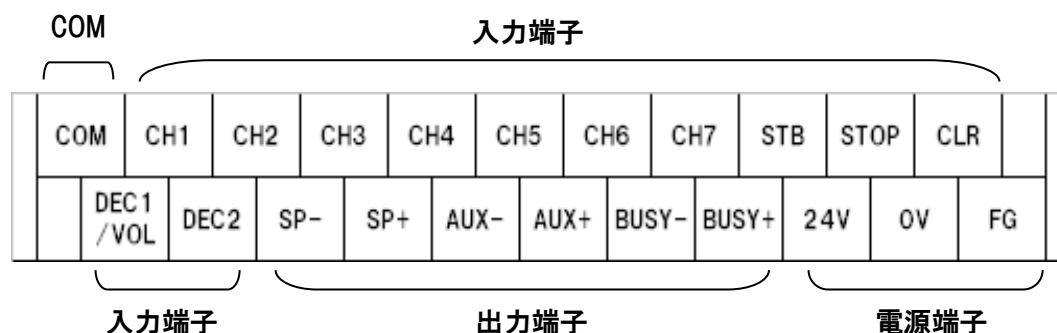
⚠ 注意



- ※寸法は、部品リード足 3mm の絶縁を考慮したスペースを確保してください。部品リード足が導電性の取付け面に接触すると、ショートによる故障の恐れがあります。
- 平座金を使用する場合はφ8mm 以下のものを使用してください。φ8mm よりも大きい平座金を使用すると、基板パターンとのショートによる故障の恐れがあります。
- ねじは必ず 4 点を推奨トルクで締め付けてください。製品落下の恐れがあります。

5. 配線方法

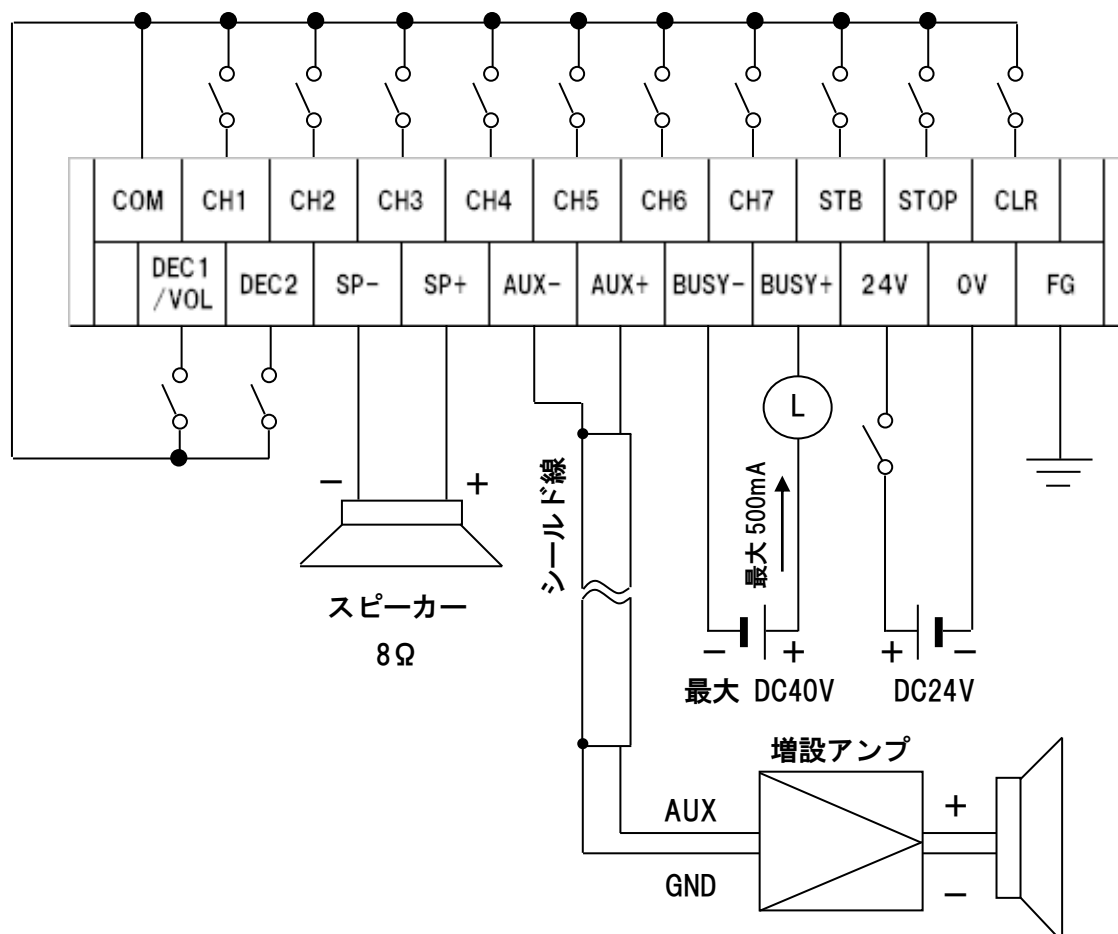
5-1. 端子配列と名称



名称	機能
COM	入力端子用のコモン端子です。
CH1～7	音声メッセージ選択用の端子です。COM と短絡することで音声メッセージが選択されます。選択方式にはバイナリ入力とビット入力があります。 (☞ 23 ページ「 7-1. CH 端子入力 」参照)
STB	バイナリ入力時、音声メッセージを再生する際に使用します。 (ホールド再生モードを除く) (☞ 30 ページ「 (E) ホールド再生 」参照)
STOP	再生中の音声メッセージを停止します。
CLR	メモリ再生モード時、メモリされている音声メッセージを消去する際に使用します。他のモードでは STOP と同じ機能になります。
DEC1/VOL, DEC2	入力状態に応じてスピーカー音量、AUX 音量を減音します。 (☞ 21 ページ「 6-2. 減音機能 」参照)
SP-, SP+	スピーカー接続用端子です。 (☞ 14 ページ「 ③ スピーカー出力端子の配線 」参照)
AUX-, AUX+	増設アンプ接続用端子です。 (☞ 15 ページ「 ④ AUX 出力端子の配線 」参照)
BUSY-, BUSY+	音声メッセージ再生中に出力します。 (☞ 17 ページ「 ⑤ BUSY 出力端子の配線 」参照)
24V, 0V	電源入力用端子です。DC24V を接続してください。 (☞ 12 ページ「 ① 電源端子の配線 」参照)
FG	接地することにより、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。FG 穴と内部で接続されています。

5-2. 配線

配線例


注意

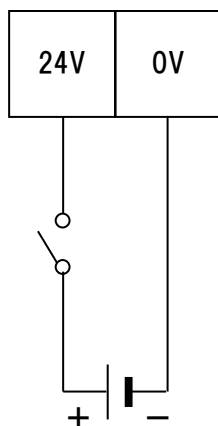
- 入力端子を電源端子および出力端子に接続しないでください。製品を破壊する恐れがあります。
- 本製品に触れる場合は、体に帯電している静電気を必ず放電させてから作業をおこなってください。静電気を放電させるには、他のアースされている金属部分を素手で触れるようにしてください。また、指定外の部品やパターンを触らないようにしてください。静電気で基板上の部品が壊れたり、部品の足でケガをすることがあります。
- 配線・取付けの際は、必ず電源を切ってからおこなってください。ショートによる内部回路の焼損の危険があります。

お願い

- 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。
- ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。
- BUSY端子へ電子機器などを接続した場合、ノイズの影響により、再生音に異常が発生する場合があります。配線の距離や引き回しの変更により、改善することができます。

① 電源端子の配線

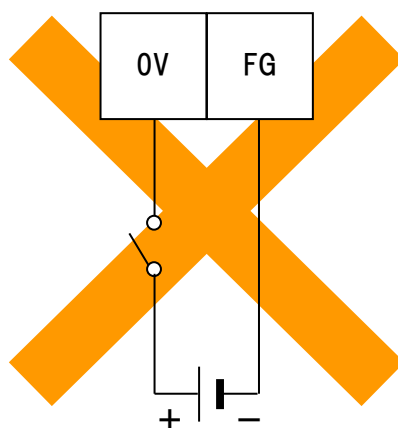
DC24V を接続してください。



消費電流	240mA (定格電圧印加/-6dB 1kHz 正弦波データ再生時)
突入電流	11A 以下

! 注意

- 電源配線は間違いのないように注意してください。0V-FG 間に電圧を印加すると、電源短絡状態になり、電源を破壊します。

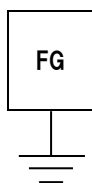


お願い

- 極性に注意して配線してください。
- 電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに容易に電源を切ることができるスイッチを設けてください。
- 電源配線にリレー・スイッチなどの無電圧接点を使用する場合は、突入電流を考慮したものを選定してください。容量が不足すると、接点の溶着・誤作動の原因となります。
- 静粛性を求められる場所で使用される場合には、定格電圧で使用してください。

② FG 端子の配線、ノイズ対策ピンの設定

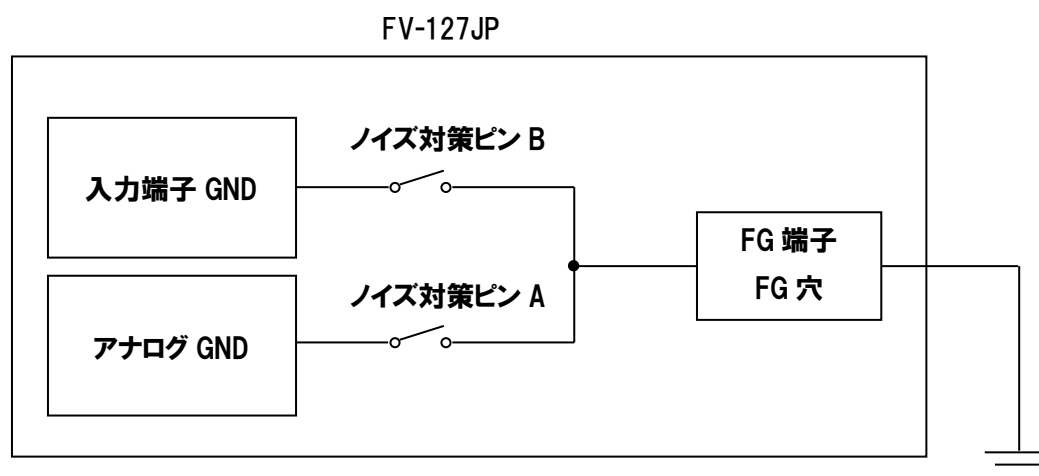
FG 端子を接地することにより、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。
FG 穴と内部で接続されています。



FG 端子を接地してもノイズの影響が改善されない場合は、ノイズ対策ピンの設定を変更してください。ピンの挿入状態によりノイズの影響を受けにくくなる場合があります。
出荷時は両方挿入されていますが、使用環境によってはピンを抜いた方が、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。

ノイズ対策ピン A・・・挿入することによりアナログ GND と FG を接続します。
スピーカー出力・AUX 出カラインのノイズに関係します。

ノイズ対策ピン B・・・挿入することにより入力端子 GND と FG を接続します。
入力端子ラインのノイズに関係します

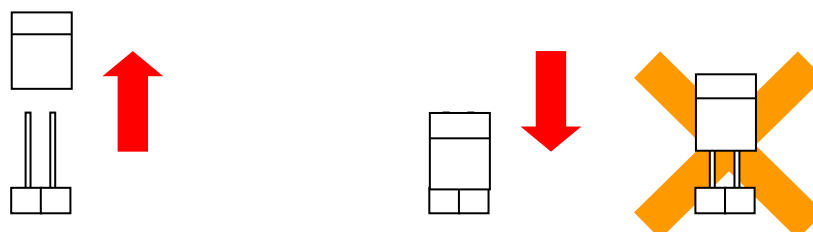


※出荷時はどちらも挿入されています。

※ピンには [日本圧着端子製造株式会社 JM-2BK-61] を使用しています。

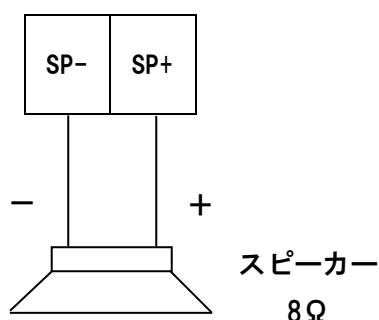
●ピンを抜く際は、下図のように上方向へ引っ張ってください。

ピンを挿入する際は、下方向へ最後までしっかりと挿入してください。



③ スピーカー出力端子の配線

スピーカーを接続してください。



使用できるスピーカーについて

- ・スピーカーには、別売りの SPW-5E 型(5W)/SPL-5E(5W)が使用できます。
(☞42 ページ「[④ オプションスピーカー](#)」参照)
- ・スピーカーをお客様で用意される場合は、下表の仕様のもので用意してください。
スピーカー出力の設定により、使用できるスピーカーが異なります。
スピーカー出力は設定スイッチで切替え可能です。
(☞36 ページ「[7-5. スピーカー出力](#)」参照)

スピーカー出力を 4W に設定している場合	定格インピーダンス：8Ω 定格入力：4W 以上
スピーカー出力を 2W に設定している場合	定格インピーダンス：8Ω 定格入力：2W 以上

注意

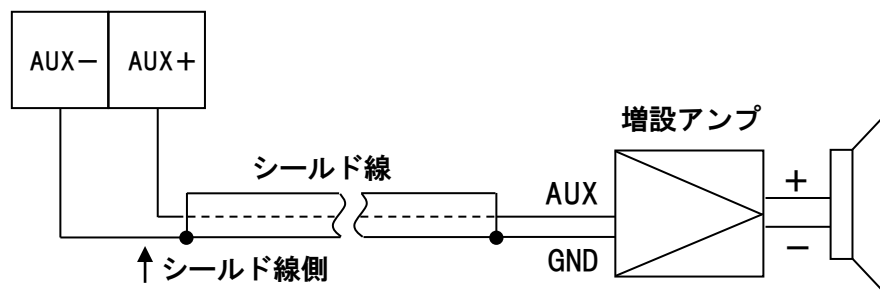
- スピーカーは仕様を満たすものを使用してください。製品やスピーカーが破損する恐れがあります。

お知らせ

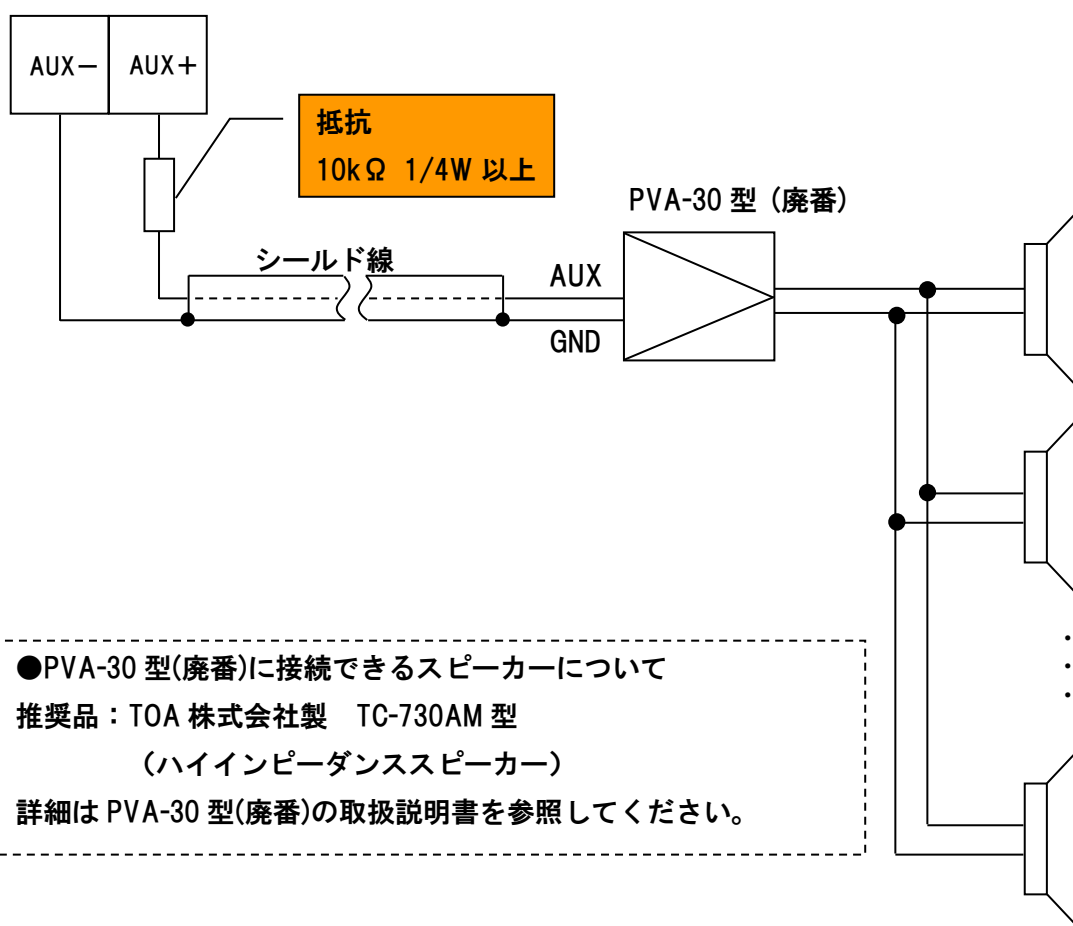
- スピーカーの極性を間違えると音量が低下する場合があります。
- ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。

④ AUX 出力端子の配線

増設アンプを接続することができます。



- 別売りの増設アンプ PVA-30 型(廃番)と接続する際は、 $10k\Omega$, $1/4W$ 以上の抵抗を挿入してください。(下図参照)



- PVA-30 型(廃番)に接続できるスピーカーについて
推奨品：TOA 株式会社製 TC-730AM 型
(ハイインピーダンススピーカー)
詳細は PVA-30 型(廃番)の取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意

- PVA-30 型(廃番)と接続する場合、抵抗を挿入せずに増設アンプのボリュームを MAX で使用すると、音割れやアンプ故障の原因となります。

- ・ 増設アンプをお客様で用意される場合は、入力感度 $-20\text{dBV}\sim 0\text{dBV}$ 、入カインピーダンス $600\sim 10\text{k}\Omega$ のものを使用してください。

注意

- アンプは仕様を満たすものを使用してください。製品や増設アンプが破損する恐れがあります。

お願い

- ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。

お知らせ

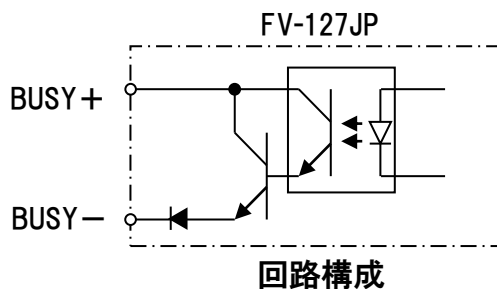
- 増設アンプを出力状態にしたまま、本製品の電源を ON すると、ポツ音が出ます。

⑤BUSY 出力端子の配線

音声メッセージ再生中に出力します。表示灯や回転灯などの機器と外部電源を接続すれば、メッセージ再生中に動作します。

(内部電圧で動作する機器の場合は、外部電源は必要ありません。)

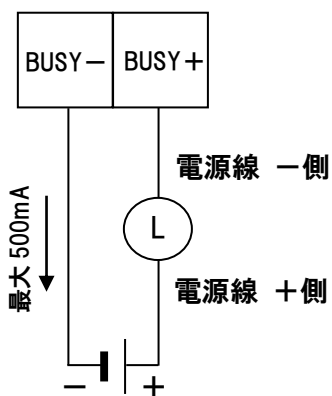
- BUSY 出力端子に接続できる外部電源の電圧は最大 DC 40V です。
- BUSY 出力端子に流すことができる電流値は最大 DC 500mA です。



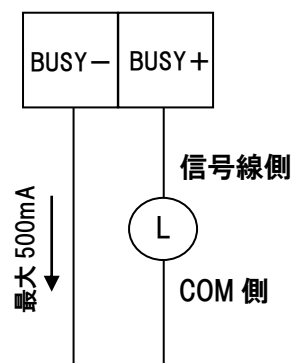
接続例

弊社回転灯、表示灯などを接続する場合は、下図のように接続してください。

- 外部機器を電源線制御する場合



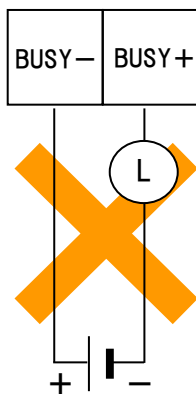
- 外部機器を信号線制御する場合
(NPN オープンコレクタ制御機器の場合)



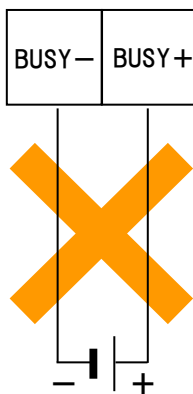
接続間違い事例

下図のようにには接続しないでください。

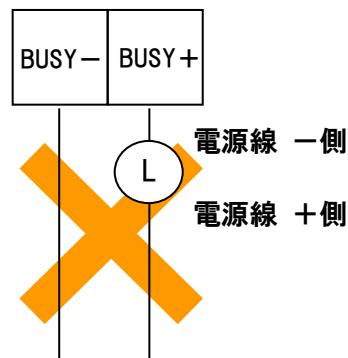
間違い事例 1
(極性間違い)



間違い事例 2
(電源のみ接続)



間違い事例 3
(電源制御時に電源なし)

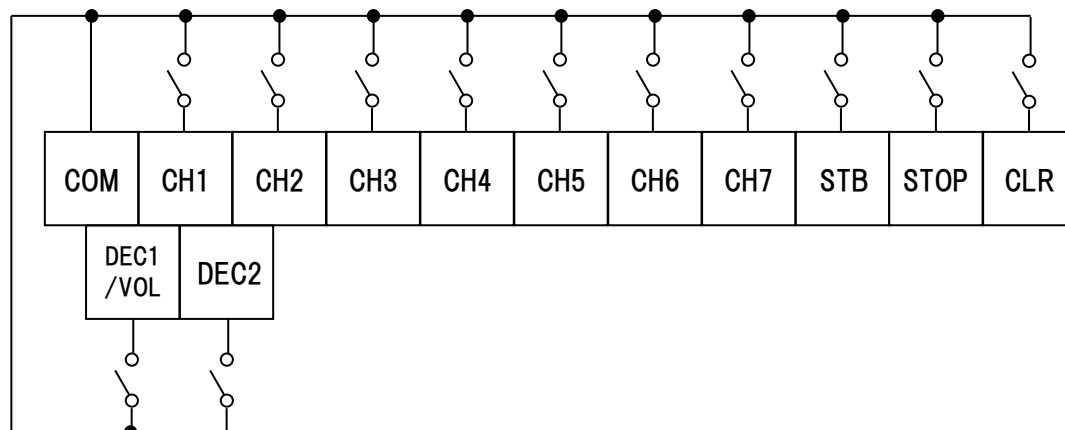


⚠ 注意

- DC40V 以上の外部電源、あるいは AC 電源を接続すると、内部回路が焼損します。
- 500mA 以上の電流を流すと、内部回路が焼損します。
- 間違い事例 1, 2 のような配線をおこなうと、内部回路が焼損します。
- 接続する機器の突入電流は、5A をこえないようにしてください。故障の恐れがあります。

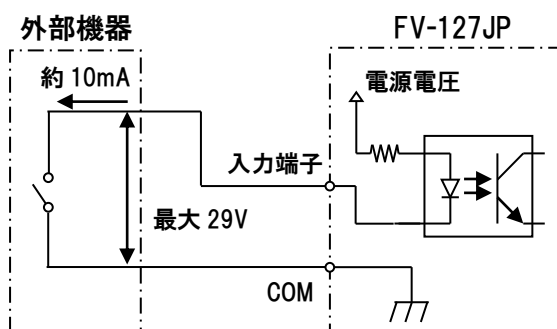
⑥ 入力端子の配線

COM と各入力端子を接続してください。

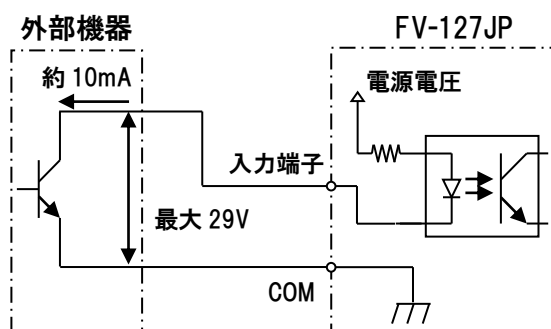


- 入力端子の外部接点には、リレー・スイッチなどの無電圧接点回路、またはオープンコレクタ回路(NPN型)を使用してください。

例：無電圧接点回路の場合



例：NPN オープンコレクタ回路の場合



- 接点容量

外部接点は、下表の接点容量を満たすものを使用してください。

電流容量	15mA 以上
耐電圧	DC35V 以上
もれ電流	0.1mA 以下
ON 電圧(Vsat)	1V 以下

⚠ 注意

- 入力端子を電源端子および出力端子に接続しないでください。製品を破壊する恐れがあります。
- 外部接点は、必ず接点容量を守って使用してください。接点故障の恐れがあります。

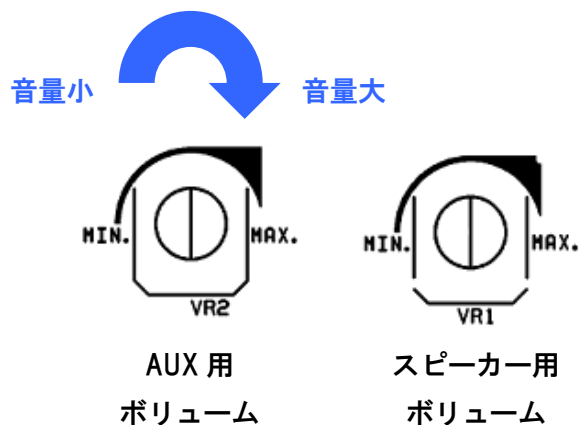
6. 音量調整方法

6-1. ボリューム調整

スピーカー出力・AUX出力の音量をそれぞれ調整することができます。

- ボリュームの操作は指で軽く回す、もしくは刃厚 1.0mm 以下のマイナスドライバーを使用してください。

※使用環境により、音量を最小に設定しても無音にならない場合があります。



⚠ 注意

- ボリュームは軽く回してください。0.1N・m よりも大きなトルクをかけると、破損する恐れがあります。

6-2. 減音機能

DEC1/VOL , DEC2 端子の入力状態に応じて、スピーカー出力・AUX 出力を減音します。

- スピーカー、AUX 出力を個別に減音することはできません。
- 減音レベルについては、下表を参照してください。

DEC1/VOL	DEC2	減音レベル
開放	開放	減音しない
COM と短絡	開放	-10dB
開放	COM と短絡	-20dB
COM と短絡	COM と短絡	-30dB

- 減音の入力は、フレーズ毎に減音されます。(下記タイムチャート参照)
フレーズについては、本体付属 CD に収録されている、[PATLITE プレイリストエディタ 2](#) のヘルプを参照してください。

【タイムチャート】

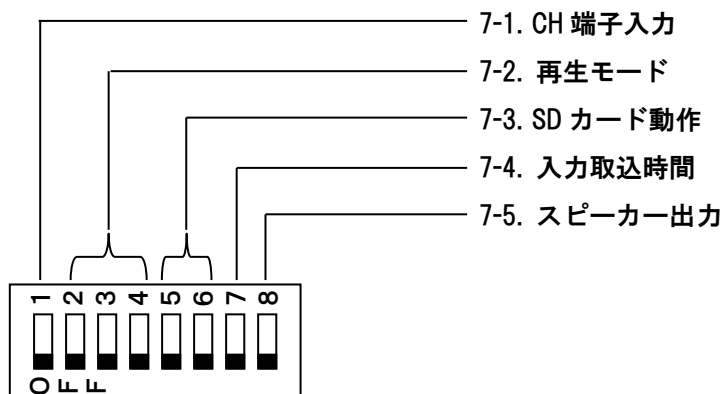
	フレーズ 1	フレーズ 2	フレーズ 3	フレーズ 4
CH1	車が	出ます。	ご注意	ください。



7. 設定スイッチ

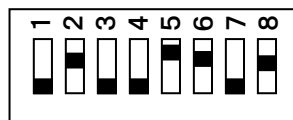
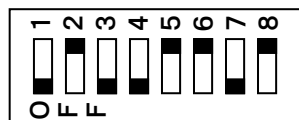
スイッチの切替えにより、各設定をおこないます。

※各設定の変更を有効にするには、電源の再起動が必要です。



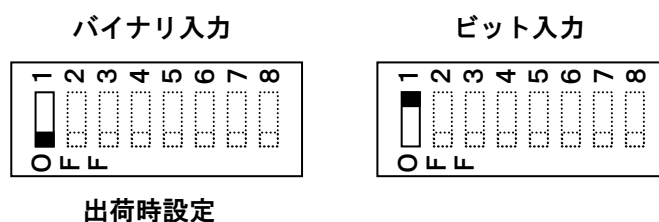
お願い

●設定スイッチは必ず図のように、端まで移動させてください。



7-1. CH 端子入力

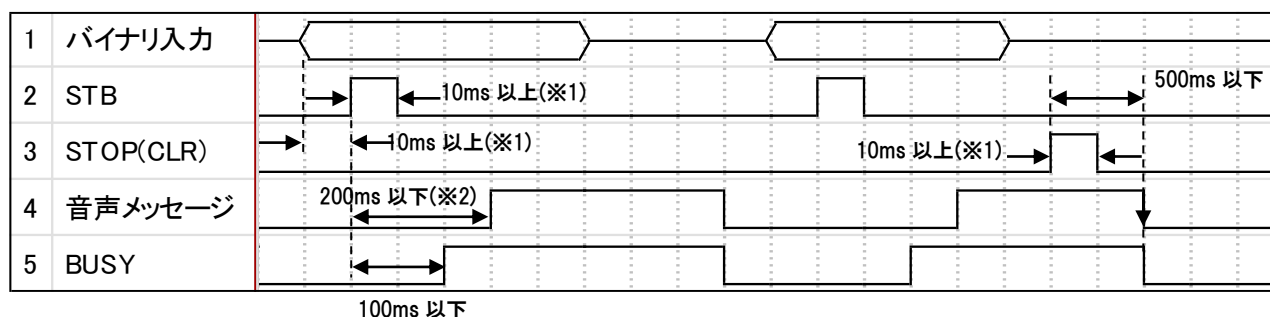
CH 端子入力を、バイナリ入力、またはビット入力で設定します。



バイナリ入力

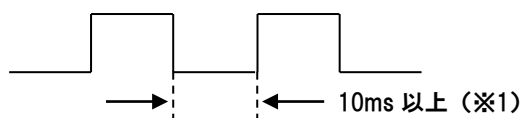
- CH1～CH7 端子を COM 端子と短絡させた状態で、STB 端子と COM 端子を短絡すると、音声メッセージを再生します。
(ホールド再生モードを除く)
☞ 30 ページ「[\(E\) ホールド再生](#)」参照
再生するメッセージ No.と CH 端子入力の関係については、
☞ 39 ページ「[10. バイナリ変換表](#)」を参照してください。
- 最大 127 メッセージの再生ができます。

【タイムチャート】



↓ 再生中のメッセージが停止されたことを表します。

- 入力と入力の間には、10ms 以上(※1)の OFF 期間を設けてください。



- 音声メッセージの起動時間は、音声メッセージの先頭部分に無音がない場合です。
- ホールド再生モード時は、STB 端子は使用しません。
(☞ 30 ページ「[\(E\) ホールド再生](#)」参照)
- 詳細のタイムチャートは各再生モードを参照してください。
(☞ 25 ページ「[7-2. 再生モード](#)」参照)

※1.入力取込時間を 10ms に設定している場合です。入力取込時間を 50ms に設定している場合は 50ms です。

※2.信号線起動時(音声データの先頭に無音部分がない場合)

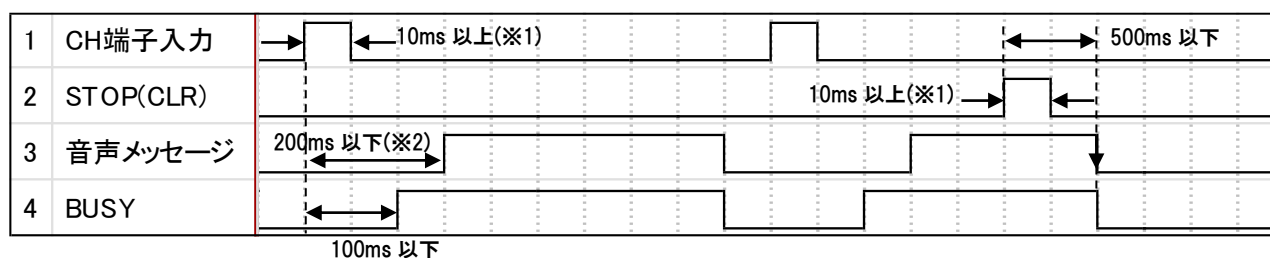
ビット入力

- CH1～CH7端子とCOM端子を短絡すると音声メッセージを再生します。
CH1～CH7端子がそれぞれ音声メッセージNo.1～7に対応します。
STB端子は使用しません。
- 最大7メッセージの再生ができます。
- 同時に2つ以上の入力があった場合、下枠の優先順位に従って入力を選択されます。
メモリ再生モードでは、優先順位が高いCH端子の順番にメモリされます。
(☞27ページ「[\(B\) メモリ再生](#)」参照)

入力優先順位

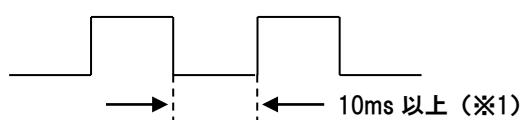
CLR > STOP > CH7 > CH6 > CH5 > CH4 > CH3 > CH2 > CH1

【タイムチャート】



↓ 再生中のメッセージが停止されたことを表します。

- 入力と入力の間には、10ms 以上(※1)の OFF 期間を設けてください。



- 音声メッセージの起動時間は、音声メッセージの先頭部分に無音がない場合です。
- 詳細のタイムチャートは各再生モードを参照してください。
(☞ 25 ページ「[7-2. 再生モード](#)」参照)

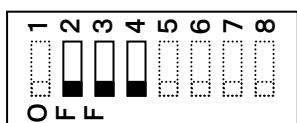
※1.入力取込時間を 10ms に設定している場合です。入力取込時間を 50ms に設定している場合は 50ms です。

※2.信号線起動時(音声データの先頭に無音部分がない場合)

7-2. 再生モード

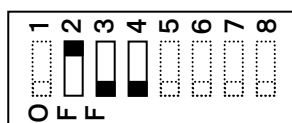
再生モードを次の(A)~(E) に設定します。

(A) ノーマル再生

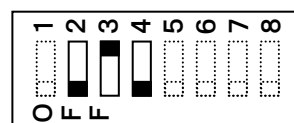


出荷時設定

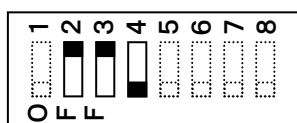
(B) メモリ再生



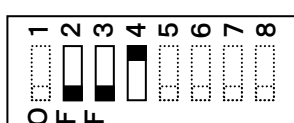
(C) 後入力優先再生



(D) 後入力・上位チャンネル
優先再生



(E) ホールド再生



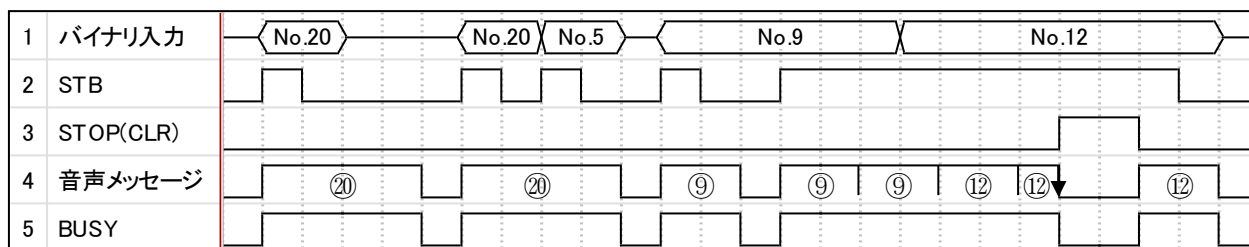
※ 上記以外の設定にした場合は、動作しません。

(A) ノーマル再生

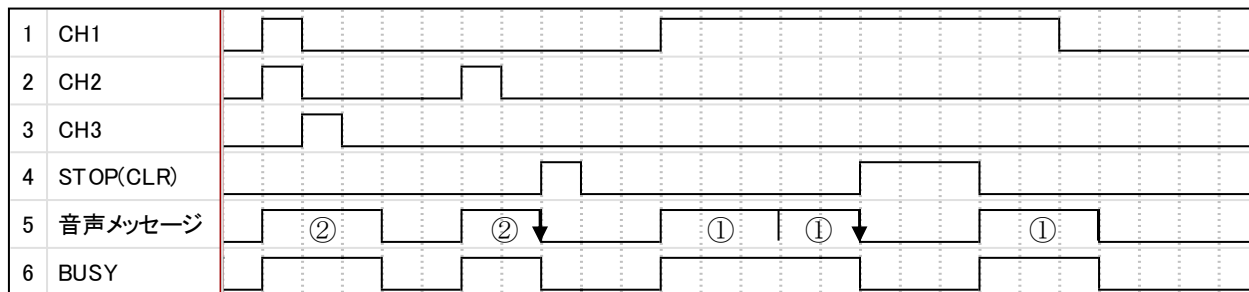
入力に応じて音声メッセージを再生します。入力がワンショットの場合は音声メッセージを1回のみ再生し、入力を保持した場合は再生を繰り返します。

- ・ 音声メッセージ再生中はCH入力が無効となります。
- ・ CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。

【タイムチャート バイナリ入力時】



【タイムチャート ビット入力時】



②・・・No.20の音声メッセージが再生されたことを表します。

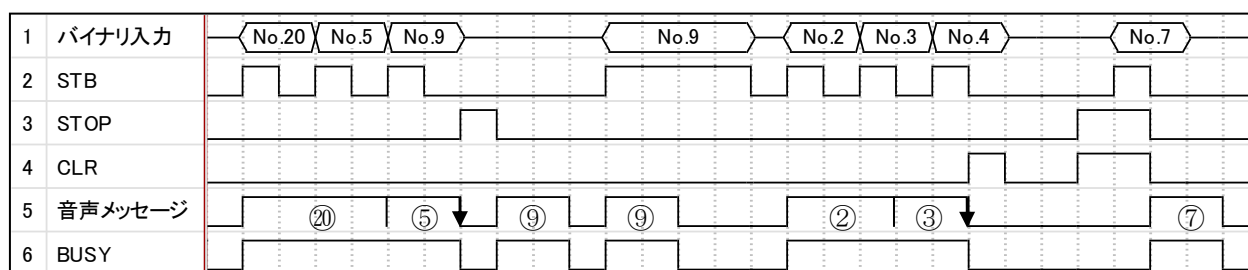
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(B) メモリ再生

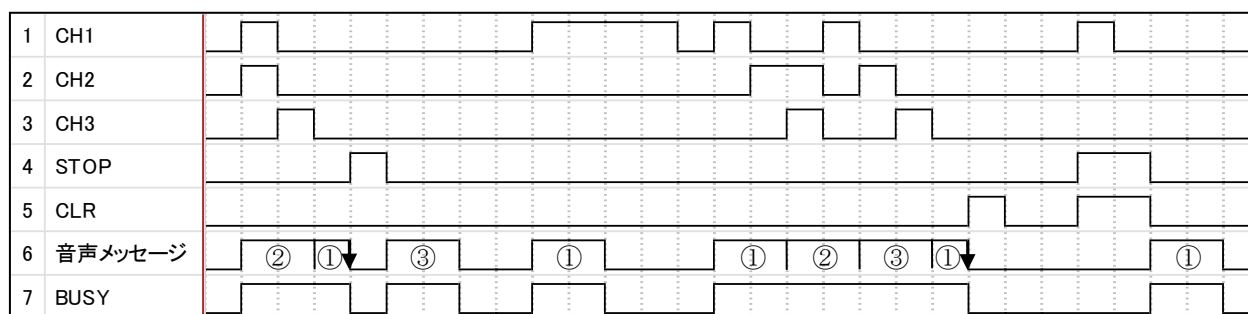
入力された順番に最大 23 の音声メッセージをメモリできます。再生が終了すると、次にメモリされた音声メッセージを再生します。最大メモリ以上の入力は無効となります。

- ・ STOP端子に入力が与えられると、再生中の音声メッセージを停止し、次にメモリされている音声メッセージを再生します。
- ・ CLR端子に入力が与えられると、再生中の音声メッセージを停止し、メモリされている音声メッセージを全て消去します。
- ・ 入力を保持しても、音声メッセージの再生は1回で終了します。
- ・ CLR端子またはSTOP端子の入力保持中でも、音声メッセージをメモリ可能です。入力を解除すると、次にメモリされている音声メッセージを再生します。

【タイムチャート バイナリ入力時】



【タイムチャート ビット入力時】



⑳・・・No.20の音声メッセージが再生されたことを表します。

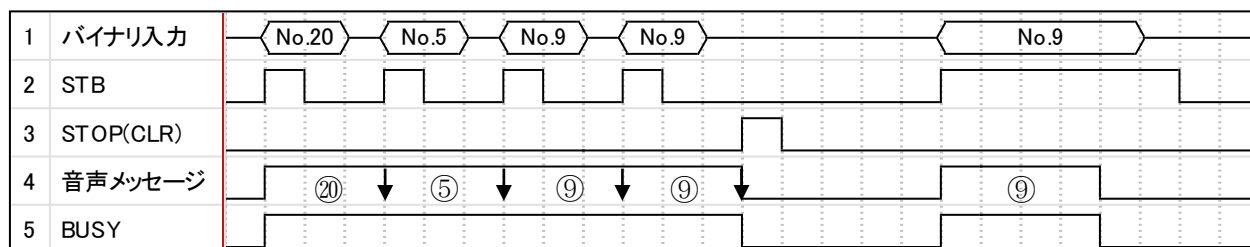
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(C) 後入力優先再生

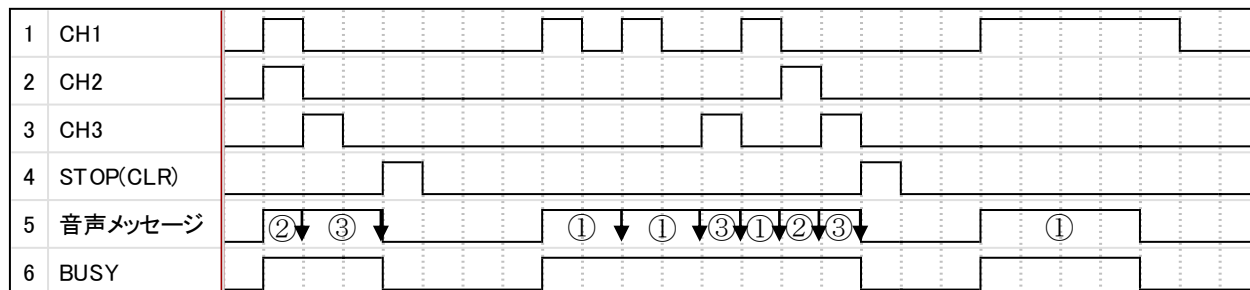
音声メッセージ再生中に次の音声メッセージが入力された場合、再生中の音声メッセージを停止して、後から入力された音声メッセージを再生します。

- ・ CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。
- ・ 入力を保持しても、音声メッセージの再生は1回で終了します。

【タイムチャート バイナリ入力時】



【タイムチャート ビット入力時】



⑳・・・No.20の音声メッセージが再生されたことを表します。

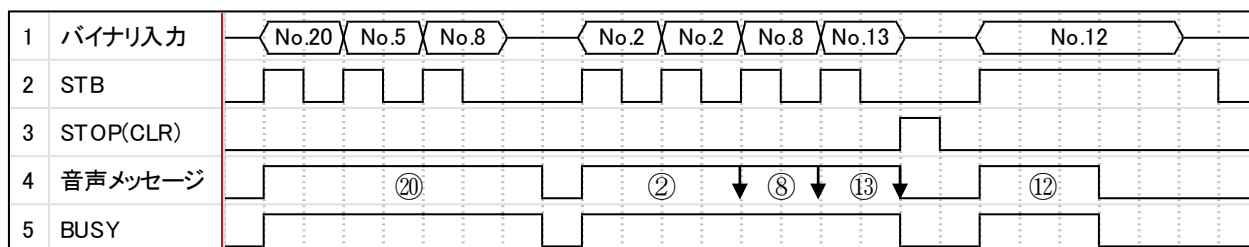
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(D) 後入力・上位チャンネル優先再生

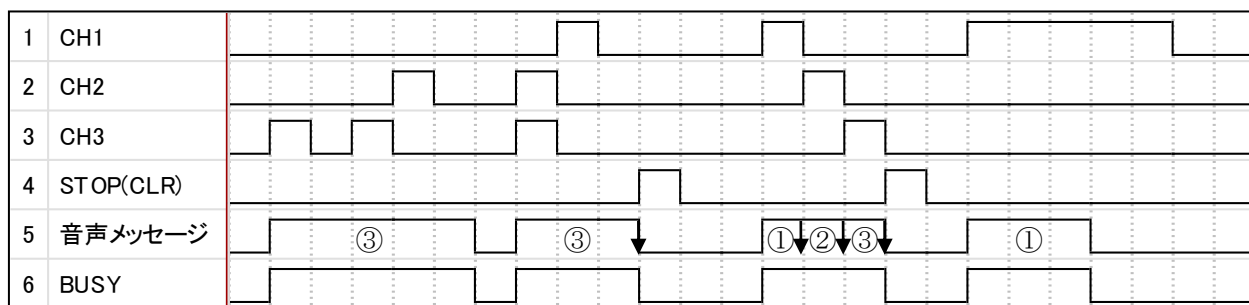
音声メッセージ再生中に、再生中の音声メッセージNo.より数字が大きい音声メッセージNo.が入力された場合、再生中の音声メッセージを停止して、後から入力された音声メッセージを再生します。再生中のメッセージNo.より数字が小さいメッセージNo.、または同じメッセージNo.が入力された場合は、入力が無効になります。

- ・ CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。
- ・ 入力を保持しても、音声メッセージの再生は1回で終了します。

【タイムチャート バイナリ入力時】



【タイムチャート ビット入力時】



⑳・・・No.20の音声メッセージが再生されたことを表します。

↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

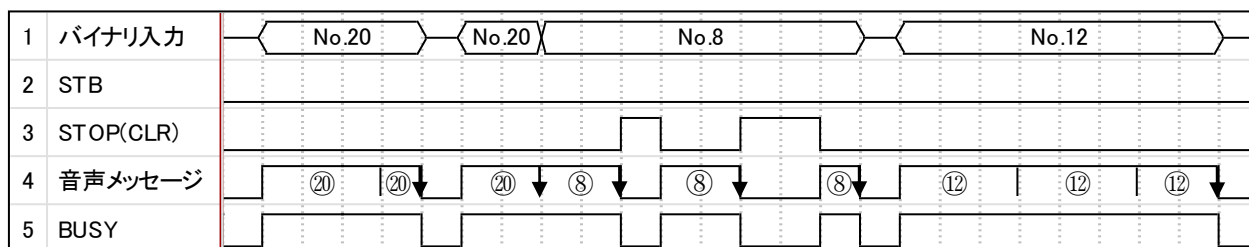
(E) ホールド再生

入力が保持されている間のみ音声メッセージの再生が可能です。

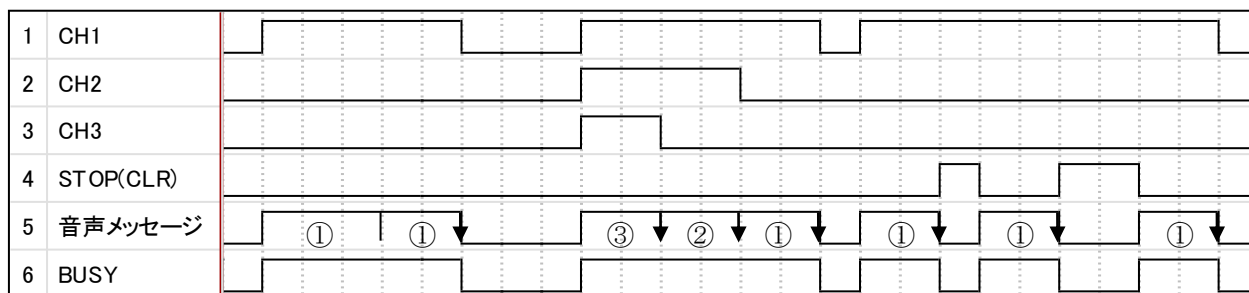
入力が無くなると再生を停止します。

- ・ このモードではバイナリ入力時に STB 端子を使用しません。CH 端子と COM 端子を短絡させている間、音声メッセージが再生されます。
- ・ 入力が保持されている間、繰り返し再生をおこないます。
- ・ このモードは、ワンショット入力には対応していません。

【タイムチャート バイナリ入力時】



【タイムチャート ビット入力時】



⑳・・・No.20の音声メッセージが再生されたことを表します。

↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

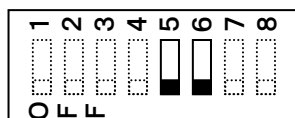
●バイナリ入力時、CH端子の入力は10ms以内(※1)に確定してください。10ms以内(※1)に確定しない場合、異なる音声メッセージが再生されます。

※1 入力取込時間を10msに設定している場合です。入力取込時間を50msに設定している場合は50msです。

7-3. SD カード動作

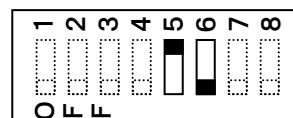
SD カードを挿入した際の動作を次の(a)~(d)に設定します。

(a) 通常モード

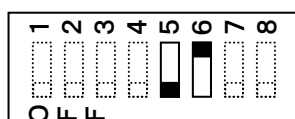


出荷時設定

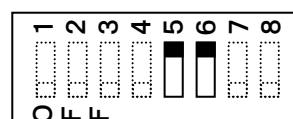
(b) 書き換えモード



(c) 読み出しモード



(d) SD カード常設モード



お願い

- SD カードは、別売りの SDV-2GP 口型を使用してください。
(☞ 41 ページ「[① SD カード\(MP3 音声メッセージ入り\)](#)」参照)
他の SD カードを使用した場合の動作は保証されません
- SD カードをフォーマットする際は、FAT16 でおこなってください。FAT16 以外の形式でフォーマットすると、SD カードを認識できません。
- Windows10 等でフォーマットした際、弊社製品にて認識しないフォーマットになる場合があります。その際は、FAT16 のフォーマットが可能な OS にてフォーマットを行うか、SD カードアソシエーションが提供しているフォーマットツールにてフォーマットを行ってください。
OSD メモリカードフォーマッター（実行には管理者権限が必要です）

<https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html>

【SD カードフォーマット方法】

パソコン上でマイコンピュータを開き、SD カードの入ったドライブを右クリックし、「フォーマット」を選択してください。

フォーマット形式は、FAT16 または、FAT を選択してください。

※フォーマットを実行すると、SD カード内のデータは全消去されます。

(a) 通常モード

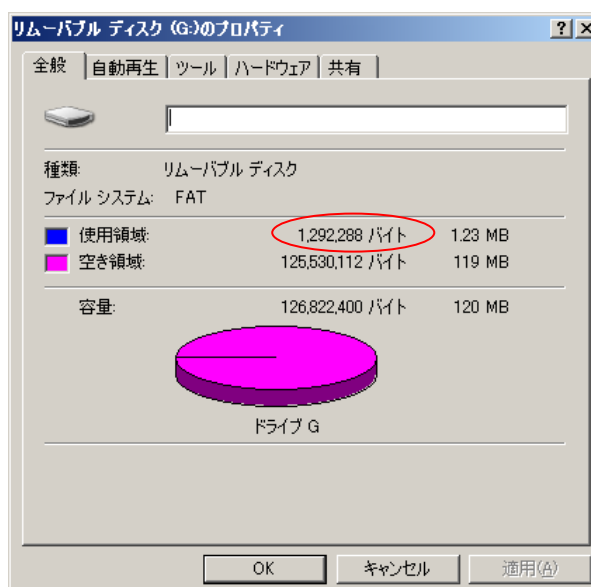
本体メモリに書き込まれた音声メッセージを再生します。

- SD カードを挿入しても、動作に影響はありません。

(b) 書き換えモード

本体メモリの音声メッセージを書き換えることができます。

- 音声メッセージの書き換えには、次のものが必要になります。
 - ・ 書き換え用データを保存した SDV-2GP 口型
(☞41 ページ「[① SD カード\(MP3 音声メッセージ入り\)](#)」参照)
データ作成方法については、本体付属 CD に収録されている、
[PATLITE プレイリストエディタ 2](#) のヘルプを参照してください。
 - ・ PATLITE プレイリストエディタ 2 (☞42 ページ [③ 音声書き換えツール](#)参照)
 - ・ パソコン (対応 OS Windows Vista™ 32bit/64bit, Windows® 7 32bit/64bit, Windows® 8 32bit/64bit)
 - ・ SD カードリーダーライター
 - ・
- 本製品の本体メモリ容量は 4,360,191 byte です。
データの使用領域(音声メッセージデータ+プレイリストファイル)を 4,360,191 byte 以下にしてください。
データの使用領域を確認するには、パソコンのマイコンピュータから、SD カードが差し込まれているドライブのプロパティを参照してください。

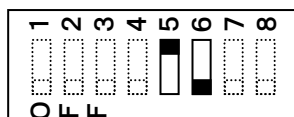


- 製品出荷時に登録されている音声メッセージは、本体付属 CD に収録されています。
- 書き換えモードでのメッセージ再生はできません。

【音声メッセージ書き換え手順】

- ① 電源を切ってください。
- ② 設定スイッチの5番をON・6番をOFFにし、書き換えモードに設定してください。

書き換えモード



- ③ SDカードスロットに書き換えデータを保存したSDカードを挿入してください。
データ作成方法については、[PATLITE プレイリストエディタ2](#)のヘルプを参照してください。
- ④ 電源を起動すると、データ書き換えが始まります。
 - ・データ書き換え中は状態表示LED(赤)が点灯します。
→状態表示LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
☞38ページ「[9. エラー表示](#)」を参照してください。
 - ・データ書き換えには最大180秒かかります。
 - ・データ書き換え中に電源を切ると、正常に転送が完了しません。
再度書き換えをおこなってください。
- ⑤ 書き換えが完了すると状態表示LED(赤)が消灯します。
電源を切ってからSDカードを抜いてください。
- ⑥ 設定スイッチの5番をOFFにし、通常モードに設定してください。
電源を起動すると、書き換えたデータでの再生が可能な状態となります。
- ⑦ 音声メッセージを再生し、データが正常に書き換えられていることを確認してください。

- 音声メッセージが正常に再生されない場合
SDカードをフォーマット(FAT16)してからデータを作成してください。
(☞31ページ「[【SDカードフォーマット方法】](#)」参照)

(c) 読み出しモード

本体メモリの音声メッセージを SD カードへ読み出すことができます。

- 読み出したデータは、再編集することができます。
- 読み出したデータで、本製品の音声メッセージを書き換えることができます。
- 読み出しをおこなっても、本体メモリのデータはそのまま残ります。
- 読み出しモードでのメッセージ再生はできません。

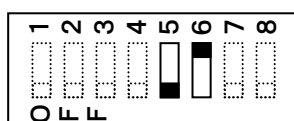
重要 !!

- 読み出し時には SD カード内のデータを全消去してから読み出します。重要なデータが入った SD カードを挿入しないようにしてください。

【音声メッセージ読み出し手順】

- ① 電源を切ってください。
- ② 設定スイッチの 5 番を OFF・6 番を ON にし、読み出しモードに設定してください。

読み出しモード



- ③ SD カードスロットに SD カードを挿入してください。
- ④ 電源を起動すると、データ読み出しが始まります。
データ読み出し中は状態表示 LED(赤)が点灯します。
→状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
☞ 38 ページ「[9. エラー表示](#)」を参照してください。
 - ・データ読み出しには最大 180 秒かかります。
 - ・データ読み出し中に電源を切ると、正常に転送が完了しません。
再度読み出しをおこなってください。
- ⑤ 読み出しが完了すると状態表示 LED (赤) が消灯します。
電源を切ってから SD カードを抜いてください。
- ⑥ SD カード内のデータを確認し、正常に読み出しができていないか確認してください。

(d) SD カード常設モード

本体メモリを使用せずに、SD カード内のデータに従って音声メッセージを再生します。
音声データ容量の合計が 128MB の場合、約 240 分の再生が可能です。

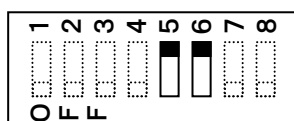
(☞ 41 ページ「[① SD カード\(MP3 音声メッセージ入り\)](#)」参照)

- SD カードを挿入したまま再生をおこないません。
- 本体メモリのデータはそのまま残ります。
- SD カードのデータのみ再生可能です。本体メモリのデータと組み合わせて再生することはできません。
- SD カードが挿入されていないと、音声メッセージを再生することができません。

【SD カード常設モード設定手順】

- ① 電源を切ってください。
- ② 設定スイッチの 5 番を ON・6 番を ON にし、SD カード常設モードに設定してください。

SD カード常設モード



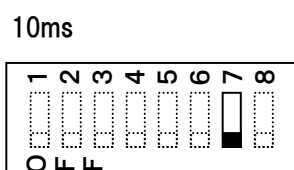
- ③ SD カードスロットにデータを保存した SD カードを挿入してください。
データ作成方法については、[③ 音声書き換えツール PATLITE プレイリストエディタ 2 のヘルプ](#)を参照してください。
- ④ 電源を起動すると、SD カード内のデータが再生可能になります。
→状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
(☞ 38 ページ「[9. エラー表示](#)」を参照してください。

- 音声メッセージが正常に再生されない場合
SD カードをフォーマット (FAT16) してからデータを作成してください。
(☞ 31 ページ「[【SD カードフォーマット方法】](#)」参照)

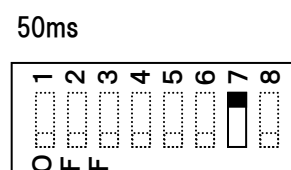
7-4. 入力取込時間

入力端子の入力取込時間を 10ms または 50ms に設定することができます。

- 各入力端子と COM 端子の短絡は、設定時間以上保持してください。
- 出荷時は 10ms ですが、ノイズの多い環境下などでは 50ms に設定することで、ノイズによる誤動作を抑えることができます。

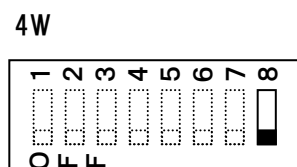


出荷時設定

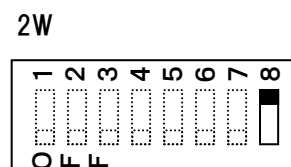


7-5. スピーカー出力

スピーカーの出力を 4W または 2W に設定することができます。



出荷時設定



8. 再生方法

- 「4. 取付け方法」～「7. 設定スイッチ」の設定をおこなってから、製品の電源を入れてください。電源表示 LED(緑)が点灯します。
- 各再生モードに対応した入力をおこなうと、音声メッセージが再生されます。
- 状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
 ☞ 38 ページ「[9. エラー表示](#)」を参照してください。

・配線、および設定の確認については以下項目を参照してください。

設定項目	参照先
配線方法	10 ページ [5. 配線方法]
音量の調整	20 ページ 「6. 音量調整方法」
CH 端子入力方法の設定	23 ページ 「7-1. CH 端子入力」
再生モードの選択	25 ページ 「7-2. 再生モード」
SD カードの動作設定	31 ページ 「7-3. SD カード動作」
スピーカー出力の設定	36 ページ 「7-5. スピーカー出力」

お願い

- 電源の ON/OFF による音声メッセージの再生はおこなわないでください。誤動作の原因になります。

9. エラー表示

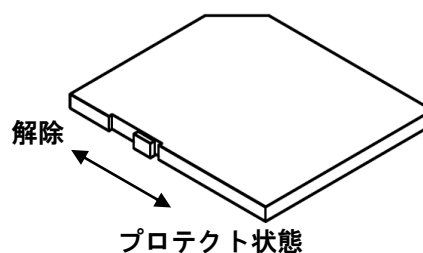
状態表示 LED (赤)が点滅している場合はエラーが発生しています。下表を参照して対応してください。

●エラー内容により、1回～4回の点滅を繰り返します。

状態表示 LED(赤) 点滅回数	エラー名	対策
1回点滅	再生エラー	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声メッセージの書き換えが正常に完了していない可能性があります。再度音声メッセージを書き換えてください。 ● MP3 ファイルが壊れている可能性があります。元データがパソコン上で再生可能であるか確認してください。
2回点滅	SD カードエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● SD カードが未挿入または、接触不良の可能性があります。SD カードを挿入しなおしてください。 ● SD カードがFAT16以外の形式でフォーマットされている可能性があります。FAT16 でフォーマットしてください。 ● SD カードのライトプロテクトがかかっている可能性があります。ライトプロテクトを解除してください。(下図参照)
3回点滅	データエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● PATLITE プレイリストエディタ2のヘルプを参照し、再生データが正常であるか確認してください。
4回点滅	本体メモリエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体メモリの容量オーバーの可能性があります。書き換えデータを確認してください。

※正常に操作しても動作しない場合は、最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。

スライドスイッチが図の状態になっているとプロテクト状態です。スイッチを矢印の方向にスライドさせてプロテクトを解除してください。



10. バイナリ変換表

CH 端子 音声 メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH 端子 音声 メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7
	No.1	●								No.33	●				
No.2		●						No.34		●				●	
No.3	●	●						No.35	●	●				●	
No.4			●					No.36			●			●	
No.5	●		●					No.37	●		●			●	
No.6		●	●					No.38		●	●			●	
No.7	●	●	●					No.39	●	●	●			●	
No.8				●				No.40				●		●	
No.9	●			●				No.41	●			●		●	
No.10		●		●				No.42		●		●		●	
No.11	●	●		●				No.43	●	●		●		●	
No.12			●	●				No.44			●	●		●	
No.13	●		●	●				No.45	●		●	●		●	
No.14		●	●	●				No.46		●	●	●		●	
No.15	●	●	●	●				No.47	●	●	●	●		●	
No.16					●			No.48					●	●	
No.17	●				●			No.49	●				●	●	
No.18		●			●			No.50		●			●	●	
No.19	●	●			●			No.51	●	●			●	●	
No.20			●		●			No.52			●		●	●	
No.21	●		●		●			No.53	●		●		●	●	
No.22		●	●		●			No.54		●	●		●	●	
No.23	●	●	●		●			No.55	●	●	●		●	●	
No.24				●	●			No.56				●	●	●	
No.25	●			●	●			No.57	●			●	●	●	
No.26		●		●	●			No.58		●		●	●	●	
No.27	●	●		●	●			No.59	●	●		●	●	●	
No.28			●	●	●			No.60			●	●	●	●	
No.29	●		●	●	●			No.61	●		●	●	●	●	
No.30		●	●	●	●			No.62		●	●	●	●	●	
No.31	●	●	●	●	●			No.63	●	●	●	●	●	●	
No.32						●		No.64							●

※ 表中の●は COM 端子との短絡状態を表しています。

CH 端子 音声 メッセージ No.	CH 端子							CH 端子 音声 メッセージ No.	CH 端子						
	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7		CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7
No.65	●						●	No.97	●					●	●
No.66		●					●	No.98		●				●	●
No.67	●	●					●	No.99	●	●				●	●
No.68			●				●	No.100			●			●	●
No.69	●		●				●	No.101	●		●			●	●
No.70		●	●				●	No.102		●	●			●	●
No.71	●	●	●				●	No.103	●	●	●			●	●
No.72				●			●	No.104				●		●	●
No.73	●			●			●	No.105	●			●		●	●
No.74		●		●			●	No.106		●		●		●	●
No.75	●	●		●			●	No.107	●	●		●		●	●
No.76			●	●			●	No.108			●	●		●	●
No.77	●		●	●			●	No.109	●		●	●		●	●
No.78		●	●	●			●	No.110		●	●	●		●	●
No.79	●	●	●	●			●	No.111	●	●	●	●		●	●
No.80					●		●	No.112					●	●	●
No.81	●				●		●	No.113	●				●	●	●
No.82		●			●		●	No.114		●			●	●	●
No.83	●	●			●		●	No.115	●	●			●	●	●
No.84			●		●		●	No.116			●		●	●	●
No.85	●		●		●		●	No.117	●		●		●	●	●
No.86		●	●		●		●	No.118		●	●		●	●	●
No.87	●	●	●		●		●	No.119	●	●	●		●	●	●
No.88				●	●		●	No.120				●	●	●	●
No.89	●			●	●		●	No.121	●			●	●	●	●
No.90		●		●	●		●	No.122		●		●	●	●	●
No.91	●	●		●	●		●	No.123	●	●		●	●	●	●
No.92			●	●	●		●	No.124			●	●	●	●	●
No.93	●		●	●	●		●	No.125	●		●	●	●	●	●
No.94		●	●	●	●		●	No.126		●	●	●	●	●	●
No.95	●	●	●	●	●		●	No.127	●	●	●	●	●	●	●
No.96						●	●								

※ 表中の●は COM 端子との短絡状態を表しています。

11. オプション販売品

① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)

■型式 SDV-2GP□-□□□

ビットレート：64kbit/s

●□□□には依頼された音声データのフレーズ登録総数が記入されます。

フレーズ登録総数	型式
なし	SDV-2GP□
1～16	SDV-2GP□-016
17～32	SDV-2GP□-032
33～64	SDV-2GP□-064
65～128	SDV-2GP□-128
以降、64 単位で増加	

※特注メッセージは別途スタジオ録音費用が発生します。

●ご依頼のあった音声メッセージを、SD カードへ登録して出荷します。

●各再生 CH は最大 16 フレーズまで登録可能です。

●MD・カセットテープ等の、データ支給による MP3 変換・登録もお受けします。

ただし、CD 等の著作物からの録音は、著作者の許可証(JASRAC の証明書等)が必要です。

② メッセージ CD-ROM

■型式 FV-CD-□□□

●□□□には依頼された音声メッセージのフレーズ登録総数が 64 単位で記入されます。

フレーズ登録総数	型式
1～64	FV-CD-064
65～128	FV-CD-128
129～192	FV-CD-192
.	.
.	.
.	.

※特注メッセージは別途スタジオ録音費用が発生します。

●SD カードを既にお持ちで、新規のメッセージが必要になった場合は、こちらをご利用ください。ご提供できる音声メッセージデータは、MP3 形式となります。

③ 音声書き換えツール

■ PATLITE プレイリストエディタ 2 (無料)

- プレイリストデータを作成するツールです。
- 本ツールは以下の WEB サイトから入手することができます。

(<https://www.patlite.co.jp/peditor/>)

④ オプションスピーカー

・ ホーン型スピーカー

■型式 SPW-5E

定格インピーダンス：8Ω

定格入力：5W

出力音圧レベル：102dB/W (at1m)

- 本製品のスピーカー出力を 4W に設定時、最大約 105dB の大音量を出力することができます。 (-6dB 1kHz 正弦波 データ再生時)

・ コーンスピーカー

■型式 SPL-5E

定格インピーダンス：8Ω

定格入力：5W

出力音圧レベル：87dB/W (at1m)

12. 修理を依頼される前に

トラブル内容	処置方法
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の電源端子に規定の電圧がかかっているか確認してください。 (☞12 ページ「① 電源端子の配線」参照) ● 入力端子が正しく配線されているか確認してください。 (☞19 ページ「⑥入力端子の配線」参照) ● ボリューム(スピーカー用)を調整してください。 (☞20 ページ「6-1. ボリューム調整」参照) ● スピーカーが正しく配線されているか確認してください。 (☞ 14 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● スピーカーの定格が正しいか確認してください。 (☞ 14 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞22 ページ「7. 設定スイッチ」参照) ● SD カードの内容を確認してください。FV-WIN を使用している場合、テキストファイルを登録しても、MP3 ファイルが登録されていない場合は、再生されません。 (☞ PATLITE プレイリストエディタ 2 のヘルプ参照)
状態表示 LED(赤)が点滅する	(☞38 ページ「 9. エラー表示 」参照)
違うメッセージが再生される	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力端子が正しく配線されているか確認してください。 (☞19 ページ「⑥入力端子の配線」参照) ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞22 ページ「7. 設定スイッチ」参照) ● 入力が正しいか確認してください。 (☞ 23 ページ「7-1. CH 端子入力」 および、☞ 39 ページ「10. バイナリ変換表」参照) ● SD カードの内容を確認してください。 (PATLITE プレイリストエディタ 2 (※)のヘルプ参照)
AUX 出力が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線が正しいか確認してください。 (☞ 15 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照) ● 外部アンプ接続時の極性を確認してください。 (☞ 15 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照) ● ボリューム(AUX 用)を調整してください。 (☞20 ページ「6-1. ボリューム調整」参照) ● 外部アンプの入カインピーダンスが適切か確認してください。 (☞ 15 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照)

BUSY 出力が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部電源の極性・電圧を確認してください。 (☞ 17 ページ「⑤BUSY 出力端子の配線」参照) ● 接続機器に極性がある場合は極性を確認してください。 (☞ 17 ページ「⑤BUSY 出力端子の配線」参照)
音が小さい (スピーカー、AUX 出力)	<ul style="list-style-type: none"> ● 減音端子 DEC1/VOL, DEC2 が入力されていないか確認してください。 (☞ 21 ページ「6-2. 減音機能」参照) ● ボリュームを調整してください。 (☞20 ページ「6-1. ボリューム調整」参照) ● スピーカー出力の設定があっているか確認してください。 (☞36 ページ「7-5. スピーカー出力」参照) ● スピーカーの定格が正しいか確認してください。 (☞ 14 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● MP3 データの音量レベルを確認してください。MP3 データの編集・確認方法については専門書を参照してください。
音声書き換えができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞22 ページ「7. 設定スイッチ」参照) ● SD カードの内容が正しいか確認してください。 (PATLITE プレイリストエディタのヘルプ参照) ● データサイズが 3968KB を超えていないか確認してください。 ● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。 ● SD カードのライトプロテクトを確認してください。 (☞38 ページ「9. エラー表示」参照)
音声読み出しができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞22 ページ「7. 設定スイッチ」参照) ● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。
設定スイッチの設定通りに動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞22 ページ「7. 設定スイッチ」参照)
SD カードを読み込まない。	<ul style="list-style-type: none"> ● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。 ● SD カードのライトプロテクトを確認してください。 (☞38 ページ「9. エラー表示」参照)

●正常に取付け、操作しても動作しない場合は、最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。

13. 仕様

仕様

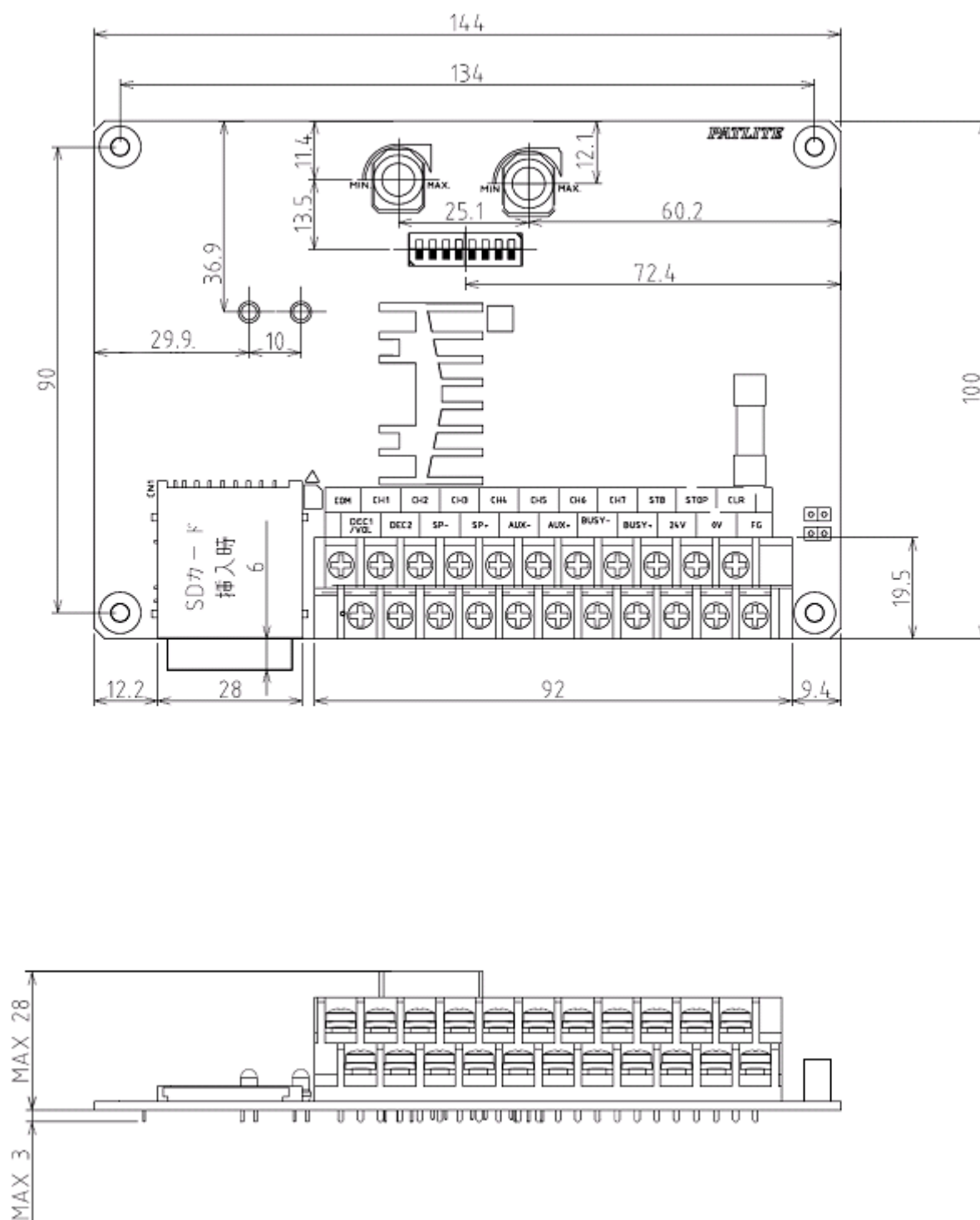
一般仕様	
機種名	FV-127JP
定格電圧	DC 24V
電圧許容範囲	DC 19~29V
配線方法	M3 端子台
最大消費電力	15W (-6dB 1kHz 正弦波データ再生時)
動作温度範囲	-10~50°C
保存温度	-40~80°C
相対湿度	85%RH 以下
使用環境	組み込み専用
取付方法	4点ねじ止め
耐振動	45m/s ² (30Hz 前後/左右各 2h・上下 4h)
質量	150g ±10%
外観寸法	144×100×28 [mm] (リード足寸法を除く)

音声仕様	
再生メッセージ数	バイナリ入力時 : 127 ビット入力時 : 7
音声ファイル	MPEG1-Audio Layer III (MP3)
ビットレート	32kbit/s、64kbit/s(標準)、128kbit/s Fs=44.1kHz
最大再生時間	本体メモリ(3.97MB)使用時 : 約 8 分 (標準ビットレートで記録した場合)
	外部メモリ(SD カード)使用時 : 音声メッセージのデータ容量が 128MB で約 240 分 (標準ビットレートで記録した場合)
本体メモリサイズ	3.97MB
音声起動時間	200ms 以下:信号線起動時 (音声データの先頭に無音部分がない場合)
音声無音部	特にユーザ指定がない場合、各音声データの前後に 100ms 以下の無音を挿入
対応メモリーカード	SD カード 推奨品:SDV-2GP□ (別売り)
カードフォーマット	FAT16
音声書き換え	SD カード + 専用ソフト(PATLITE プレイリストエディタ2により可能)
音声書き換え時間	約 180 秒 (本体メモリ 3.97MB 変更時)

入 力 ・ 出 力 仕 様	
信号入力部	CH1 , CH2 , CH3 , CH4 , CH5 , CH6 , CH7 , STB , CLR , STOP , DEC1/VOL , DEC2
信号入力優先順位	CLR 入力 > STOP 入力 > CH 入力 (大きい CH 番号が優先)
減音入力	スピーカー出力・AUX 出力 3 段階減音-10dB,-20dB,-30dB (-6dB 1kHz 正弦波データ再生時)
入力取込時間	10ms 以上 or 50ms 以上 切替可能
信号入力部回路特性	無電圧接点 or NPN オープンコレクタ
スピーカー出力	4W(適合スピーカー定格 4W 以上 8Ω) or 2W(適合スピーカー定格 2W 以上 8Ω) 切替可能 ボリュームによる出力調整可能
最大音圧	スピーカー出力 4W 時:105dB 2W 時:102dB (at 1m -6dB 1kHz 正弦波 データ再生時 SPW-5E(別売りスピーカー)使用)
AUX出力	0dBV 600Ω (ボリューム・減音入力による出力調整可能)
BUSY出力	最大 DC40V 500mA

RoHS 指令の閾値を超える規制物質の含有はありません。

外観図
【mm】



- 仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

●本書の内容につきましては、改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする

株式会社 **パトライト**

J2G

www.patlite.co.jp

[受付]月～金 9:00～17:00

土・日・祝日・当社休業日を除く

●技術・修理相談窓口(無料):0120-497-090

※ご注文・価格・納期等は、購入先にお問い合わせください。